

平成14年度「基準研究成果報告会」の報告

1. 開催日及び開催場所

(1) 東京

平成14年7月19日(金) 1300~1700

東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル 2階 大会議室

(2) 大阪

平成14年7月24日(水) 1300~1650

大阪市中央区馬場町2番24号 KKR HOTEL OSAKA 14階 オリオンの間

2. 演題及び報告者

最近の国際動向と今後の安全・環境行政	松尾 龍介 (国土交通省 安全基準課長)(東京)
	加藤 隆一 (安全基準課 国際基準調整官)(大阪)
大臣会合とクオリティ・ SHIPPING	加藤 隆一 (安全基準課 国際基準調整官)
国内規制の動向について	金子 栄喜 (安全基準課 補佐) (東京)
	神谷 和也 (安全基準課 専門官) (大阪)
操縦性能向上による事故防止	貴島 勝郎 (九州大学 教授) (東京)
	小瀬 邦治 (広島大学 教授) (大阪)
ばら積み貨物船の安全対策に関する検討	有馬 俊朗 (日本海事協会 研究センター)
船橋機器の近代化と航行安全	今津 隼馬 (東京商船大学 教授)

3. 参加者

(1) 東京：147名(講師、来賓、主催者を除く)

造船会社等 15名	三菱重工業(1)、石川島播磨重工業(2)、日立造船(1)、三井造船(3)、日本鋼管(2)、川崎重工業(3)、今治造船(1)、大島造船所(1)、三井造船昭島研究所(1)
船用工業 9名	日本無線(3)、中国塗料(1)、日本ペイントマリン(1)、アーケケミカルズジャパン(1)、日本ドライケミカル(1)、IHIエンジニアリングマリン(1)、ニッスイ・エンジニアリング(1)
船会社等 22名	日本郵船(4)、商船三井(4)、川崎汽船(1)、原燃輸送(2)、新日本海フェリー(1)、昭和油槽船(1)、第一中央汽船(2)、東京マリン(1)、出光タンカー(1)、日鉄海運(1)、東海運(1)、太平洋汽船(1)、新日本石油タンカー(1)、エムエムエス(1)
公益法人等 56名	日本財団(3)、日本海事協会(12)、日本船主協会(2)、日本造船技術センター(3)、日本中小型造船工業会(1)、日本船用工業会(2)、日本舶用品検定協会(5)、製品安全評価センター(3)、日本船舶品質管理協会(3)、日本船舶標準協会(3)、日本海事検定協会(1)、日本海難防止協会(2)、日本旅客船協会(2)、日本船長協会(2)、日本船舶機関士協会(1)、日本気象協会(1)、海洋水産システム協会(1)、日本化学工業協会(2)、日本内燃機関連会(1)、日本鋁業協会(1)、石油海事協会(1)、日本貨物検査機関同盟(3)、電気事業連合会(1)
官庁等 31名	国土交通省(5)、海難審判庁(3)、海上技術安全研究所(16)、航海訓練所(1)、運輸施設整備事業団(2)、日本小型船舶検査機構(1)、船員災害防止協会(1)、東京商船大学(2)
その他 14名	LR5(1)、日本海洋科学(1)、日本海洋掘削(1)、明治大学(1)、ソウル大学(1)、現代重工業(1)、個人・その他(8)

(2) 大阪 : 49 名 (講師、来賓、主催者を除く)

造船会社等 11名	石川島播磨重工業(1)、日立造船(3)、日本鋼管(1)、新来島どつく(1)、名村造船所(1)、サノヤス・ヒシノ明昌(1)、常石造船(1)、内海造船(1)、信貴造船所(1)
船用工業 11名	寺崎電気(1)、ダイハツディーゼル(1)、ユアサコーポレーション(1)、カナエ塗料(2)、兵神機械工業(1)、オルボルグインダストリーズ(1)、長岡工作所(1)、サンフレム(1)、オウギ(1)、ジャパンハムワージ(1)
船会社等 4名	関西汽船(1)、東興海運(1)、住友金属物流(1)、神戸マリンコーポレーション(1)
公益法人等 5名	日本海事協会(1)、日本船主協会(1)、日本船用工業会(1)、兵庫県小型船舶工業会(1)、近畿旅客船協会(1)
官庁等 13名	国土交通省運輸局等(9)、海上技術安全研究所(2)、海技大学校(1)、神戸商船大学(1)
その他 5名	海事プレス(1)、アクアソーラテクノロジーズ(1)、内海水先人会(1)、海事代理士会(2)

4 . アンケート回答状況

(1) 東京

回答者数 : 68 (46 %)
 回答者業種内訳 : 造船会社(11)、造船設計・コンサルティング* (1)、船用機器製造者(4)、船会社・船舶管理会社(14)、その他の海事・流通関係会社(2)、社・財団法人(22)、特殊・独任法人(8)、官公庁(行政)(3)、その他(3)
 回答者事務所所在地 : 東京(52)、首都圏(13)、中部(0)、近畿(1)
 中国(1)、四国(0)、九州(0)、その他(1)

(2) 大阪

回答者数 : 21 (43 %)
 回答者業種内訳 : 造船会社(5)、造船協力事業者(1)、船用機器製造者(2)、研究機関・会社(1)、船会社・船舶管理会社(2)、社・財団法人(4)、官公庁(4)、その他(2)
 回答者事務所所在地 : 大阪(5)、神戸(5)、近畿圏(5)、中部(1)、中国(3)、四国(1)、九州(0)、その他(1)

5 . アンケートの回答内容

A . 今回の報告会についての感想・要望等

(A - 1) 報告会の意義

- * 基準の背景、各分野を統括した報告会として貴重である。業界としても、参加する委員だけでなく、委員会の技術情報を広く一般職員に啓蒙させる責任を感じる。(造船会社)
- * 国際規則の形成過程説明と決議結果の解説は今後共継続して、この様な報告会をお願い致します。非常に有効と考えます。(造船会社)
- * R R の活動報告として、結果のみでなく、バックグラウンド等も含めた説明が多くなされ、規則成立の全体像の理解の手助けになったと思う。(造船会社)
- * 環境安全に対するニーズが高まる中で、分かり易く時事の規制動向を説明頂き有り難うございました

た。又、三つの研究と検討の紹介もタイムリーであり、業務に直結するものも有り、大変有意義に拝聴致しました。しかながら、資料が若干少なく感じました。もう少し詳細な資料をお願いしたい。

(海運会社・船舶管理会社)

*クオリティー SHIPPING に非常に興味を持った。今後も最新情報を得られる会を開催して欲しい。

(海運会社・船舶管理会社)

* IMO、国土交通省等で、現在何が行われているかわかり有意義でした。(社・財団法人)

* 最近の国際、国内の安全・環境規制に関する動向を把握することができ大変有意義であった。「操縦性能向上による事故防止」等大変興味のある成果報告の説明があり大変勉強になった。(官公庁)

* 分かり易く有意義であった。(社・財団法人)

* 意義ある発表会ですので、関西の造工、小船工の会員にも個々に案内されることを希望します。(社・財団法人)(大阪)

(A-2) 興味のある報告

* 船橋の近代化、AIS 関連の最新動向がよく判った。(造船会社)

* 「操縦性能」は過去の経緯(永い道程)が判り参考になった。最近のアンケートも興味深かった。

「船橋機器」最近の航海機器の思いがけない効果も「目からウロコ」であった。(造船会社)

* バルクセイフティに関して各国の色々な動きに関してその動向と、今後の方向性に関して聞きたい。

操縦性、船橋機器に関してはわかり易かった。(造船会社)

* 特に報告 が良かった。(造船設計・コンサルティング)

* 特に報告 、 、 が有意義でした。(船用機器製造者)

* 各々報告内容が重なる事なく、其々興味深い話でした。残念な事は、時間が少なく、もう少しゆっくりとした説明を聞きたかったです。特に報告 は、船乗りとしてはなかなか興味深い話でした。

(海運会社・船舶管理会社)

* 船舶機器の近代化と航行安全の講義はわかりやすかった。(海運会社・船舶管理会社)

* 海運会社や造船会社等がそれぞれに対してどのように対処していかなければならないか等具体的な内容も盛り込まれていた方が良いと思われる。内容的には興味深いものが多かった。(特に AIS)

(海運会社・船舶管理会社)

* AIS の現状が良くわかりました。(社・財団法人)

* 報告 、大臣会合とクオリティー SHIPPING が非常に興味があった。 Flag State のみならず PSC 団体も IMO の Audit を受けるべきである。(社・財団法人)

* 操縦性能向上による事故防止、船橋機器の近代化と航行安全の話が大変有益であった。(官公庁)

* (報告 国内規制動向について) 動向が解り大変参考になった。今後とも機会あるごとに関西においても開催をお願いしたい。(社・財団法人)(大阪)

* V の船舶機器の説明(AIS)がわかりやすかった。抽象的な解説も必要とは思いますが、各機器等の詳細についても聞いてみたい。(官公庁)(大阪)

* 船社を Retire して、10 年近く経ち、一般海事情報にはうとくなっていたので、今回の参加は非常に役に立ちました。今後は全て世界と強調してやってゆかねばならないことが良く判りました。講師の先生方のこの方面でのご活躍に敬意を表します。仕事柄(水先人)小瀬先生の操縦性能不良船に関するお話は興味をもって拝聴しました。水先人の実務面での協力を評価して頂き有り難うございました。(その他)(大阪)

(A-3) コメント・要望など

* 国際的動向、国内動向についてわかった。

ばら積み船安全対策については説明が専門的でわかりにくかった。

浸水警報についての意見が聞きたかった。(造船会社)

* 興味ある議題多いが、制限された時間で、要約の説明にとどまらざるを得ないため、消化不良気味、配付資料の内容をより詳細にすることで補って欲しい(資料作りそのものに多大な労力要すること 充々承知です)。もちろん、十分な補足資料がある議題もありました。(海運会社・船舶管理会社)

* バルクキャリアセーフティーに関する IMO への我国対応が不明確であった。

- FSA 結果がいつ活かされるのか？（既に対策が決まってしまった）（海運会社・船舶管理会社）
- * レジメとパワーポイント表示の資料（特に表、グラフ等）可能な限り同一化して頂ければ有難い。全体としてはアレンジ、配置、手順は極めて良好。（元海運会社・船舶管理会社）
 - * AIS の効果について USER（船の運航側）として利用について、もう少し研究をすべきと思います。（海運会社・船舶管理会社）
 - * 各講師とも要点を整理して説明出来ており分かり易かった。会場内側面のディスプレイの位置がもう少し高いと、見やすかったと思う。資料 37 頁表 2 は最後の一行が印刷されていない。残念。（社・財団法人）
 - * 時間の都合で最後まで在籍出来なかったのが残念であった。安全基準課の方の説明では未発効の条約についての日本のスタンスが十分に説明されていないように思われた。例えば船底塗料条約の批准準備は米国、EU パナマが批准しそうだから、中身の善し悪しにかかわらずとにかく、国内調整中とか MARPOL 附属書 の批准の動きはみえないが米国が 30% MARPOL 条約を上回った規制をしようとしているので世界的に引っ張られても仕方がないだろうとか、日本として主体的に何を考えているから、何を問題点として認識しているので批准作業をすとかしないとかの説明が無く先の予測が出来ず残念だ。（社・財団法人）
 - * 多くのテーマについて関係者が多大な努力をされていることが良く分かった。規則、基準に結びつく事柄であるので分かり易い反面、その背景に幅広い、深い研究調査があり、それらについてさらに知りたいが時間もないので一工夫欲しい。（社・財団法人）
 - * 船の環境問題を取り上げる時、環境問題全体に対して、船の影響がどの程度をしめているかの位置づけが欲しい。（特殊・独立行政法人）
 - * やはり各報告毎に質疑応答があった方が良い。（特殊・独立行政法人）
 - * 最新の情報も多く、興味深く拝聴いたしました。環境関係についてもっと詳しくやっていただければと思います。（特殊・独立行政法人）
 - * 少し詳しくすぎるのでは？（特殊・独立行政法人）
 - * PowerPoint のコピーは全テーマ準備して欲しい（有料でもいい）。機関、電気関係のテーマをもっと取り上げて欲しい。前刷が少しプアーなものがあつた（有料でもいい）。（造船会社）（大阪）
 - * IMO A.751(18)の 10 ° Z second overshoot angle は、日本の積極的な approach により、緩和案がとられたが、original の基準値を満たすような解の方法（船型、付加物ほか）もあるはず。この面での検討 / 評価はどうなのか。（船用機器製造者）（大阪）
 - * 回を重ねて、年度毎の進展状況が解るようにして欲しい。（社・財団法人）（大阪）

(A - 4) 一般的感想

- * まとまっていて、良かった。（造船会社）
- * 最近の規則の動向がわかり、良かった。（造船会社）
- * 内容・講師ともに有益であった。但し一部やや聞き辛いものもあつた。（造船会社）
- * 関心の高いテーマを要領良く説明して頂いた。感謝します。（造船会社）
- * 講演に使用された OHP のコピーの配布をお願いしたい。（配布資料にないもの）（船用機器製造者）
- * 今後の当業界に関する情報が多く、情報交換の場として大いに役に立った。（海運会社・船舶管理会社）
- * とても参考になりました。（海運会社・船舶管理会社）
- * 現下の状況に合ったタイムリーな内容であり、有意義な報告会です。（海運会社・船舶管理会社）
- * 有意義でした。（海運会社・船舶管理会社）
- * 良好と思う。（その他の海事・流通関係会社）
- * 良かった。（その他の海事・流通関係会社）
- * 会場の準備が非常に良く、後ろからでも良く見ることが出来た。（社・財団法人）
- * 大変有意義でした。（社・財団法人）
- * テーマが分散されていて興味深いものであつた。（社・財団法人）
- * 種々新しい情報を入手する機会で有意義であつた。（社・財団法人）

- * 年1回の催しとして、IMOの動向、国内法規制の動きを総括する上で結構な会と存ずる。(社・財団法人)
- * IMO等の全体的な動きがわかって良かった。(社・財団法人)
- * 海運・造船の専門外ですが、各テーマ詳しい説明があり、良く理解できました。(社・財団法人)
- * 良い。(社・財団法人)
- * Rep. - つまらない Rep. - 内容有り。説明うまい Rep. - つまらない Rep. - 内容有り。時間長すぎる Rep. - 内容濃い。優秀 Rep. - 内容有り (社・財団法人)
- * 最新の情報が聞けて有意義であった。(社・財団法人)
- * 最新の情報が聞け、有意義でした。(社・財団法人)
- * 安全基準にかかわるものとして、いつも大変役に立っています。今後共より充実して続けて欲しいと思います。(社・財団法人)
- * 最近の国際的な規制の流れ、国内的規制の流れが良くわかった。又過去のIMOでの討論内容などがわかり、興味深い説明であった。(社・財団法人)
- * 現在研究中の課題の概要を聞くことが出来て、有意義であった。(特殊・独立行政法人)
- * 昨年も拝聴しましたが、この1年間の主要なIMO動向変化を簡潔にご紹介頂き、大変有難く感じました。講演テーマの種類と内容、時間設定(total 半日)も非常に良いと思いました。(特殊・独立行政法人)
- * 大変勉強になりました。(特殊・独立行政法人)
- * 講師の説明が明解だった。PowerPointは見やすかった。(特殊・独立行政法人)
- * 国際的な動向と、国内法化の関連を理解するうえで、役だった。又専門分野についての情報も有用であった。(官公庁)
- * 最近新しいニュースに接する事がなかったので、大変参考になりました。(その他)
- * 専門的にある程度入った説明がされて非常に役に立った。(その他)
- * 資料何頁とお教え下されば更に能率あがると存じます。(その他)
- * 色々新しいことがわかって有意義だった。(造船会社)(大阪)
- * 規則強化の動向とその背景、経緯が良く理解出来た。(造船会社)(大阪)
- * 非常に参考になりました。(造船会社)(大阪)
- * IMOの動向について参考になった。(船用機器製造者)(大阪)
- * 有意義であった。(研究機関・会社)(大阪)
- * 最近の国際動向、国内規制動向について非常に参考になった。(社・財団法人)(大阪)
- * 非常に多くの分野で研究が行われている事が判り興味深かった。(官公庁)(大阪)
- * 最近の国際動向や国内規制動向等興味もたれた。(その他)(大阪)

B. 今後の検討課題

(B-1) 海上安全関係 (RR-S1)

- * 原油タンカー バラストタンクの腐食状況判定基準 腐食コントロールの研究(造船会社)
- * 浸水警報の方式 荷物積載時の検知方法(特に粉体荷物の時)(造船会社)
- * 水中検査法/船体モニタリング法
航海中、湾内停泊中に船体の検査状況モニタリングを行う方法(社・財団法人)
- * 船齢に対してと船舶の劣化を判定する公平な基準作り
ほとんどの新規則は新造船から適用され、現存船の安全性レベルアップにつながらない。老齢船体の劣化度判定技術の確立を全世界で試みたらどうか。(社・財団法人)
- * サブスタンダード船を無くする事が重要である。(その他)
- * 環境関連(クオリティ SHIPPING 制度のグローバルスタンダード化)(海運会社・船舶管理会社)
- * 環境にやさしい新エネルギーによる推進船(造船会社)(大阪)

(B-2) 船舶の性能関係 (RR-S2)

- * 今津先生の report にあるように AIS を単なる洋上で至近に来る他船の静的データのみでウェブサイト
に動的操縦性能を入れて洋上全体の総合完成システム化を提案してほしい。人的エラーを起こす
直前の洋上船にも警報発信化？（元海運会社・船舶管理会社）

(B - 3) 救命通信関係 (R R - S 3)

- * 今津先生の report にあるように AIS を単なる洋上で至近に来る他船の静的データのみでウェブサイト
に動的操縦性能を入れて洋上全体の総合完成システム化を提案してほしい。人的エラーを起こす
直前の洋上船にも警報発信化？（元海運会社・船舶管理会社）
- * 船舶の安全を考えた機器間信号接続も含めた、安全システムの対応（IBS 等あるが、信号体系をと
もなっていないため統合化的なもの）（船用機器製造者）

(B - 4) 防火・消火関係 (R R - S 4)

- * 火災の初期発見に関する有用性の調査研究（船用機器製造者）

(B - 5) 設計設備関係 (R R - S 5)

- * NOx 削減に関する新燃料の検討・調査研究（船用機器製造者）
- * ビルヂ排出に関する油分発見・分離に関する調査研究（船用機器製造者）
- * 船舶機器の改善・向上に伴い、船舶検査省略の方策を是非検討していただきたい。（社・財団法人）
- * 環境関連（クオリティシッピング制度のグローバルスタンダード化）（海運会社・船舶管理会社）
- * 国際的ではないですが、電気推進に関して取組予定はあるのでしょうか。（海運会社・船舶管理会
社）
- * 代替推進プラントの動向調査・検討、代替燃料の動向調査（造船会社）（大阪）
- * パラスト水の処理（研究機関・会社）（大阪）
- * 全天候の岸壁荷役設備、一般貨物船の倉内載貨装置、綱とりのいらぬ岸壁係船装置（海運
会社・船舶管理会社）（大阪）
- * 海技免状の国際な評価を数値比較が可能な検討が必要。各機器の部品の品質均一化と共通化検討（社
・財団法人）（大阪）

(B - 6) 航行安全関係 (R R - S 6)

- * 今津先生の report にあるように AIS を単なる洋上で至近に来る他船の静的データのみでウェブサイト
に動的操縦性能を入れて洋上全体の総合完成システム化を提案してほしい。人的エラーを起こす
直前の洋上船にも警報発信化？（元海運会社・船舶管理会社）
- * 船舶の安全を考えた機器間信号接続も含めた、安全システムの対応（IBS 等あるが、信号体系をと
もなっていないため統合化的なもの）（船用機器製造者）
- * 衝突・座礁回避自動操船装置（造船会社）（大阪）
- * GSP 技術（社・財団法人）（大阪）

(B - 7) 安全評価関係 (R R - S 7)

- * 船舶機器の改善・向上に伴い、船舶検査省略の方策を是非検討していただきたい。（社・財団法人）

(B - 8) 海洋環境保護関係 (R R - E 1)

- * 海洋規則と船舶との関連があるもの、今回報告された事例に近いもの（造船会社）
- * 環境関連（クオリティシッピング制度のグローバルスタンダード化）（海運会社・船舶管理会社）
- * 廃棄物等の処理（特殊・独立行政法人）
- * 地球環境問題について、より多く取り組んで頂きたい。（特殊・独立行政法人）

(B - 9) 液体貨物関係 (R R - E 2)

- * ビルヂ排出に関する油分発見・分離に関する調査研究（船用機器製造者）

(B - 10) 大気関係 (R R - E 3)

- * NO_x 削減に関する新燃料の検討・調査研究 (船用機器製造者)
- * 地球温暖化防止、大気汚染防止の観点から、エンジン排気関係 (社・財団法人)
- * 船舶からの大気汚染関連。船用機関の信頼性向上関連 (特殊・独立行政法人)

(B - 11) 上記以外の課題

- * 物流のリスク・マネジメント (海上テロ対策関連)
物流 (特にコンテナ物流) に関し、サプライチェーンのどこで、どのようなチェックをすると円滑な物流を損なわずに、効果的にリスクを低減できるかの研究。(IMO 中、長期課題に対応)(社・財団法人)
- * 環境面で考えますと、強度上の問題もございますが、船体構造にアルミ材を使用すれば、リサイクルできるなどよいと思われませんが、国内では陸用に使用されている量に比べますと船用アルミ材はかなり小さいマーケットなので、分かってはいても取り組まれていない (費用面等) 現状もあると存じますので、国際的な流れのなかで「船用アルミ材」をとりあげるのもよろしいかと存じます。(認知の向上)(社・財団法人)
- * (個人的な意見ですが) タンカー荷油タンクの原油洗浄 COW の運用条件について再チェックを。IMO での COW + IGS (+CBT) 審議当時と荷油タンク環境 (DH タンク (Flushed tank) の出現) や機器性能状況が変わりつつある現在状況を捉えて、DH 荷油タンクでの腐食発生が早期化している傾向、排出ポンプで補足するステッジや土砂の増大傾向などとの因果関係を再チェックしてはどうでしょうか。(特殊・独立行政法人)

(B - 12) その他

- * 改正されていく法に対する船社の、早期対応と明確且つ頻繁な対応を可能とする手段。(海運会社・船舶管理会社)
- * 現状の延長で最新の Rule 動向を厳しく注視願ひ、又必要な意見を述べて頂きたい。(海運会社・船舶管理会社)
- * 日本提案等から国際規則化された例などは専門誌、業界誌のみならず、一般紙で紹介されるよう PR できませんか？ (元海運会社・船舶管理会社)
- * 法則、規則の変化に対してただ内容を研究するだけでなく、実務に沿っていない内容等を無くしていくような研究をして欲しい。(海運会社・船舶管理会社)
- * SOLAS は、これまで追加されたり拡充されたりして、膨大な規則体系になりすぎているように思います。これからは、今の技術レベルを反映させて、整理し、すっきりした規則にするべき時期に来ているように思えます。例えば、航海機器関係でも、もっと統合化したシステマ的なものでもよくする、とか、救命関係でも全般的な対応もしてもよいようにする。又、消火、防火関係にしても、より全般的な対応も具体的に考えていく価値があると思います。あわせて、日本主導で IMO への (ISO、IEC も含め) 積極的働きかけをしていくチャンスでもあると思います。(社・財団法人)
- * 規制の緩和・整理 (特殊・独立行政法人)
- * PRTR 物質、減少に向けての取組み等 (造船協力事業者)(大阪)
- * 国内法の取り入れが遅れ、改訂された時点ではあわてることになるので、できるだけ事前に情報の提供をお願いします。(社・財団法人)(大阪)

(B - 13) その他 (IMO の審議に対するコメントなど)

- * 英国を中心として進んでいる国際条約改正の動きを slow down させる (社・財団法人)
- * バルクキャリアの浸水警報、テロ対策のように費用対効果を考えると「 ??? 」な規制が最近の IMO に多い。技術的・論理的でない提案に対しては、(IMO の場で) どんどん正論を主張してもらいたい。(社・財団法人)
- * 安全確保のポイントは新設備搭載や新ルール作成ではなく、既にあらゆる知見のもとに構築されたルールの適性な運用、実行であると考えられます。近年、欧州地区からのルール改正提案が真の技術安全レベルの確保というよりも政治的な背景 (結論ありき) が優先した非合理的で非現実的な

IMO での決定が目につきます。IMO の小委員会・委員会の議題の多さにしても問題があると考えられます。日本は造船、海運国として技術的なバックグラウンドを盾になぜルール改正が必要なのか、不要なのかを IMO の審議の場に押し込んでもらいたい。

造研 R R 会合で、主に IMO の審議にどのような考えを日本として、整理するかについて問題の対処を検討しますが、こちらの方針を決める場合、提案国及びその提案に賛同国などの情報や作戦がわかっておけば、非常に効果的な準備が可能と思います。従って他国の動向の情報収集に積極的に取り組んで欲しい。(社・財団法人)

* 外国(西欧)に負けぬよう活動すべきであろう。(社・財団法人)

* グローバル化の中、近隣国である韓国、中国との共同研究(造船会社)(大阪)

C . 造研ホームページへの要望

(C - 1) R R 関係

* 今迄の実績網羅(造船会社)

* 行事・催物案内/規則改正などの(活動成果に関係ある見出し)提供・研究進捗状況(造船会社)

* 報告書関連は全て記載して欲しい。(海運会社・船舶管理会社)

* 検討内容の具体的な進行状況/IMO 結果に対する具体的な対応(社・財団法人)

* 審議概要を早く分かりやすい形で(社・財団法人)

* シンプルで良い。

造研さんで作成された過去の報告書も掲載されているのでしょうか?

造研さんの RR/SR の会議の配布資料は掲載されているのでしょうか?

* 成果の詳しい紹介(社・財団法人)

* R R 委員会の審議結果 MEMO をご掲載いただけると幸いです。(社・財団法人)

(C - 2) IMO 関係

* IMO 関連の最新情報を早く HP に載せて欲しい。(造船会社)

* 航海機器に関する情報。(船用機器製造者)

* IMO Resolution (利用可能な)(海運会社・船舶管理会社)

* 各種規制案審議中の動向について(海運会社・船舶管理会社)

* ホームページにアクセスしたことがないので、意見を述べられる立場ではありませんが、例えば「操縦性」という keyword で、それに関連する IMO の規定、サーキュラー NO、小委員会の議事録、などの検索ができれば是非利用したいと思います。(社・財団法人)

* IMO での審議状況、決議文を掲載していただければ幸いです。(社・財団法人)

* 規則改正の最新情報(将来テーマとなる議題とその背景)(造船会社)(大阪)

* LOCAL 規制の動向。他国、造船業の動向(造船会社)(大阪)

* IMO 委員会の W.P 等、改正原案(造船会社)(大阪)

* IMO 等の動きを早く適時に記載していただくことをお願いします。(社・財団法人)(大阪)

(C - 3) その他

* 造研のホームページは、有料でも IMO 各委員会の最新の資料を公開すべきであろう。(役所と調整の上)(社・財団法人)

* ホームページにアクセスしたことがないので、意見を述べられる立場ではありませんが、例えば「操縦性」という keyword で、それに関連する IMO の規定、サーキュラー NO、小委員会の議事録、などの検索ができれば是非利用したいと思います。(社・財団法人)

* MEPC、BLG の状況、造研の成果報告を掲載する。(特殊・独立行政法人)

* 報告書等を PDF ファイルなどでダウンロードできるようにしていただきたい。(特殊・独立行政法人)

* 日本の final な結論(特殊・独立行政法人)

* ホームページを未だ見たことがないので、さっそく見てみます。(造船会社)(大阪)

D . その他（報告会、造研に対する意見・要望等）

（D - 1）報告会関係（一般）

- * 質疑応答は、各発表毎の法が良いのでは。（造船会社）
- * もう少し広い会場で開催希望。（造船会社）
- * Display で充分視認出来る文字方法で PC 原稿を作るようガイダンスを流して下さると良いと思う。予めインターネットーで見ておければ尚有難い。（船用機器製造者）
- * 今後も成果報告会を続けて頂きたい。（海運会社・船舶管理会社）
- * 成果報告会のパワーポイントでの説明資料は、配付資料にぜひ盛り込んで欲しい。（社・財団法人）

（D - 2）報告会関係（提案）

- * 会費制でよいから、終了後、意見交換会があればさらに活発になると思う。（社・財団法人）
- * パネルディスカッションを望む（若手行政・造船所・船会社）。（社・財団法人）
- * セミナー形式にし、他の機関と関連分野を集めて共同で行うと良いと思う。さらに、外国も含めてセミナー形式にして、その中に、造研の成果発表、募集した論文発表を行うと良いと思う。（特殊・独立行政法人）

（D - 3）造研に対する意見・要望等

- * 造船各社・海運各社の技術要員確保の力が無くなっている昨今、造研の場の重要性がますます高くなっていると認識しております。委員会運営にも困難をきたしておられるとは思いますが、頑張っ頂きたいと思えます。（社・財団法人）
- * IMO の PR として意味あり。（社・財団法人）
- * 中国等、造船業の盛んな地方で成果報告会を開催して頂きたい。検討課題について地方運輸局に照会頂きたい。（官公庁）
- * 世界をリードして頂きたいと思う。（その他）
- * 外国の研究成果（動向）等もわかれば教えて下さい。（その他）

D . その他（報告会、造研に対する意見・要望等）

- * 他の委員会等での事前情報もあり、今回の内容は非常に良く理解出来た。これらの情報を経済的にどう有効に活用していくかがポイントだと思う。（造船会社）
- * 造船学科の科目に片寄っている様な気がする。大気環境汚染、代替推進プラント、代替燃料と機関、電気に関するテーマも多くあると思う。（造船会社）
- * MSC の資料（W.P 等）が容易に入手できる（出来れば Automatic システム）が設けられないか。（造船会社）
- * 海運造船その他関連業界誌に積極的に掲載されたい。海事局の中の関連協会には必ず情報を流して欲しい。例えば海技免状の更新講習を実施している日本船舶職員協会の講習講師は造研の情報は 0 である。（社・財団法人）
- * 報告会を楽しみに期待しております。（社・財団法人）
- * 航海計器（VDR,AIS）等は非常に高価であると聞いている。安全性の追求も大事だが、低価格で船主が購入できるようにする事も大事な事だと思う。例えば IMO の基準に合格している製品は世界中どこでも使えるようにすれば、大量生産の効果が期待できる。NK、AB、ロイド、JG 等でお互いに認証すれば良い。（官公庁）